



Bluetooth®ワイヤレス テクノロジ搭載  
Axim™ エグゼクティブ キーボード  
オーナーズ マニュアル  
Windows Mobile™ 2003  
対応

キーボード ドライバ

Stowaway 3.03

## 目次

キーボードをインストールして設定する .....	3
作業を始める前に .....	3
ソフトウェアをインストールする .....	3
Pocket PC デバイスと連動するようにキーボードを設定する .....	4
Axim™ ワイヤレス キーボードを再接続する .....	10
非安全モードで再接続する .....	11
キーボードをカスタマイズする .....	12
[入力方法] ツールバー .....	12
キーボード コントロール パネル .....	13
Axim™ ワイヤレス キーボードを無効にする .....	14
キーボード ステータス ライト .....	14
安全な接続の概要 .....	15
Axim™ ワイヤレス キーボードを使用する .....	16
IME ショートカット .....	16
カーソルを移動する/テキストをハイライトする .....	17
画面上のボタンおよび編集のためのショートカット .....	17
アプリケーションの起動や切り替えを行う .....	18
メニューおよびツールバーへのアクセス .....	19
各言語および拡張文字セット .....	20
よく寄せられる質問 .....	22
法的告知 .....	24
商標 .....	24
カスタマ サポート .....	24
電池に関する重要情報 .....	25
Bluetooth® デバイスに関する重要事項 .....	25
規制事項 .....	26
機能および技術仕様の概要 .....	32

# キーボードをインストールして設定する

## 作業を始める前に

Windows Mobile™ 2003 対応 Axim™ ワイヤレス キーボード ソフトウェアをインストールする前に、次の作業を行ってください。

- **Pocket PC** デバイスに既にインストールされているキーボード アプリケーションを無効にするか、削除します。この方法の詳細については、**Pocket PC** デバイスに付属のユーザーズ ガイドを参照してください。
- **Pocket PC** デバイスの空きメモリ容量が **400 KB** 以上あることを確認します。空きメモリ容量を確認するには、[スタート]、[設定]、[システム]、[メモリ]の順にタップします。
- **Axim™** ワイヤレス キーボードの電池カバーに単 4 電池 2 本(同梱)を装着します。

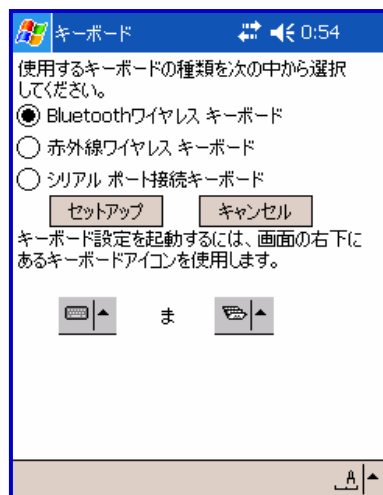
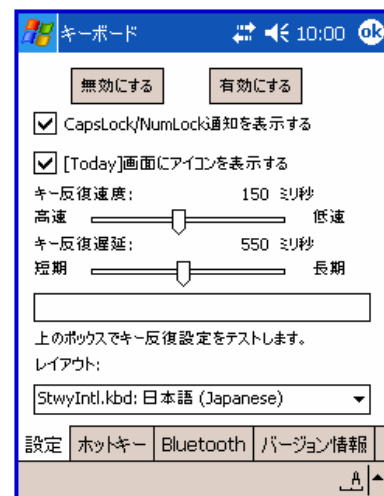
## ソフトウェアをインストールする

1. ドッキング クレードルまたは同期ケーブルを使用して **Pocket PC** デバイスをコンピュータに接続します。
2. **ActiveSync®**を使用してコンピュータと **Pocket PC** デバイスを接続し、**Pocket PC** デバイ스에保存されているデータをバックアップします。この方法の詳細については、**Pocket PC** デバイスに付属のユーザーズ ガイドを参照してください。
3. キーボードに付属の **CD-ROM** を **CD-ROM** ドライブに挿入し、[言語の選択]画面から言語を選択します。
4. インストール プロセスを開始するために使用する言語をダブルクリックします。画面に表示される手順に従ってソフトウェアをインストールします。
5. 画面上のボタンをタップして **Pocket PC** デバイスをリセットし、インストールを完了します。
6. ドライバをインストールして **Pocket PC** デバイスをリセットすると、キーボードのドライバアイコンが[プログラム]ウィンドウに表示されます。



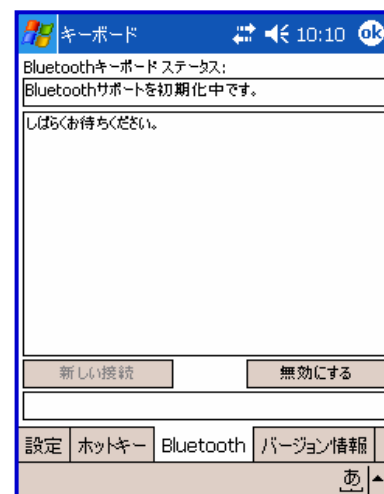
## Pocket PC デバイスと連動するようにキーボードを設定する

1. Axim™ ワイヤレス キーボードを有効にするには、キーボードアプリケーションの[設定]画面で[有効にする]ボタンをタップします。[キーボードセットアップ]画面が表示されます



2. [キーボードセットアップ]画面が表示されたら、[Bluetooth ワイヤレス キーボード]オプションを選択し、[セットアップ]をタップします。Axim™ ワイヤレス キーボード アプリケーションの[Bluetooth ステータス]ページが表示されます。[BT]タブを選択してページを開くこともできます。

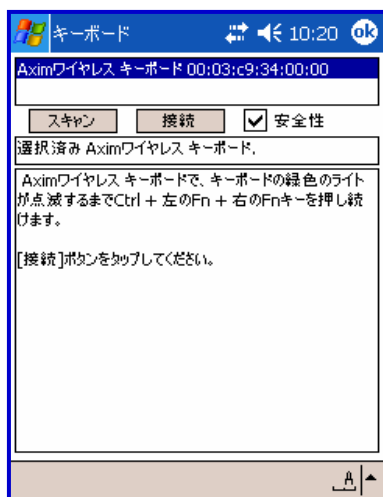
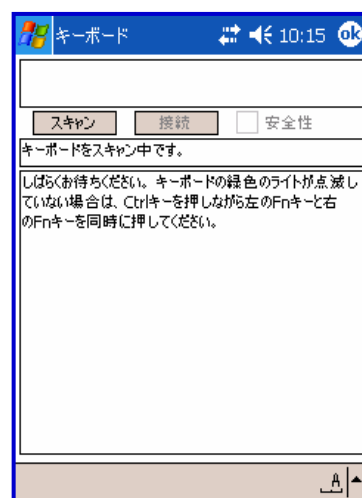
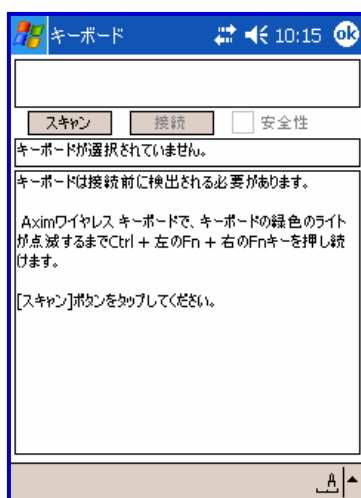
3. セットアップが開始されると、ドライバによって Pocket PC の Bluetooth システム ソフトウェア (Bluetooth スタック) が有効になります。





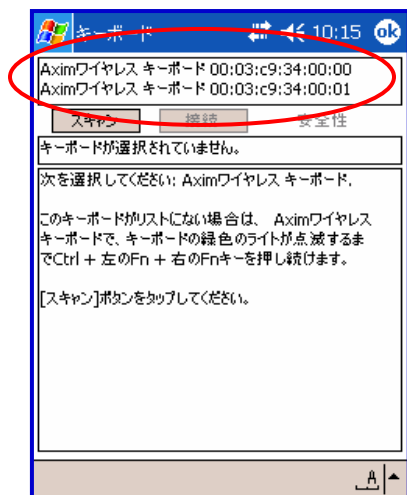
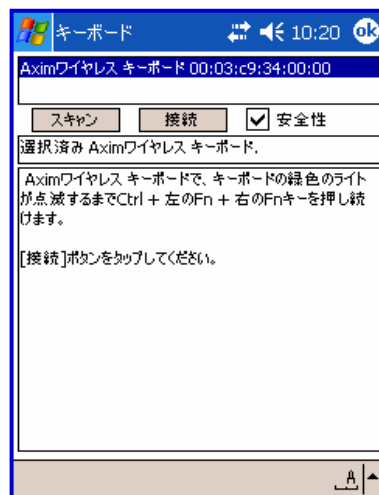
4. Pocket PC デバイスと Axim™ ワイヤレス キーボードを接続するには、[新しい接続]ウィンドウを使用します。[新しい接続]をタップして接続プロセスを開始します。

5. スキャンを開始する前に、Pocket PC デバイスによってキーボードが検出されるようになっていることを確認します。確認するには、緑色の LED が点滅するまで(約 1 秒)、キーボードの<Ctrl>キー、**左<Fn>**キー、**右<Fn>**キーを同時に押します。次に、画面の[スキャン]ボタンをタップします。



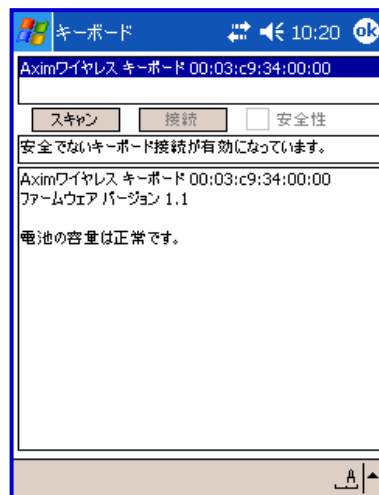
6. Axim™ ワイヤレス キーボードがリスト内に表示されるまで待ちます。キーボードが表示されない場合は、次の作業を行ってください。
- 再び<Ctrl>キー、**左<Fn>**キー、**右<Fn>**キーを同時に押し、画面の[スキャン]ボタンをタップします。
  - または、キーボードの電源を入れ直し、再び<Ctrl>キー、**左<Fn>**キー、**右<Fn>**キーを同時に押し、[スキャン]をタップします。
  - 上記の手順を行ってもリストにキーボードが表示されない場合は、キーボードの電源を入れ直した後に**赤い LED** が点灯していないかどうかを確認してください。点灯した場合は電池切れです。

7. Axim™ワイヤレス キーボードがリストに表示されたら、これをタップして選択します。次に、安全なキーボード接続または安全でないキーボード接続を選択します。安全でない接続は、傍受に対して脆弱です。安全な接続では、Pocket PC デバイスとキーボード側で同じパスキーの入力を求める認証が必要になります (#10 を参照)。安全な接続を使用する場合は、[安全な]ボックスをオンにしてください。それ以外の場合は、このボックスはオフのままにします。次に、[接続] ボタンをタップします。詳細については、「[安全な接続の概要](#)」を参照してください。



8. 複数の Axim™ワイヤレス キーボードを双方に近い場所に配置して検出モードにすると、スキャン時にこれらのすべてのデバイスがリストに表示されます。キーボードの背面に刻印されているキーボード ID (Bluetooth アドレス)を、リスト内の ID と選択したキーボードの ID と照合します。

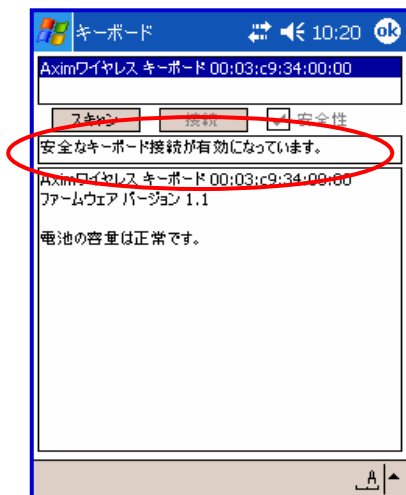
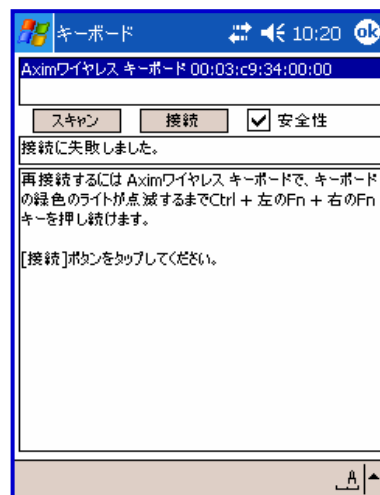
9. [安全な]ボックスがオフの場合は、[接続]をタップしてから数秒で接続が確立します。接続が確立されない場合は、再び<Ctrl>キー、左<Fn>キー、および<右 Fn>キーを同時に押し、[接続]をクリックします。





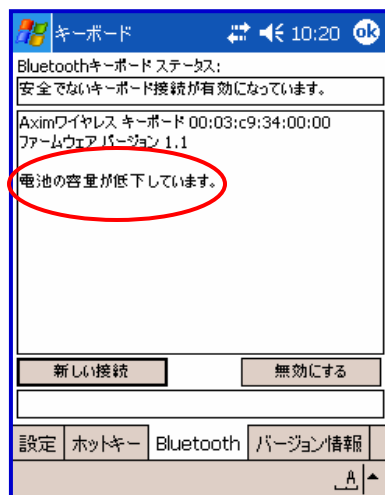
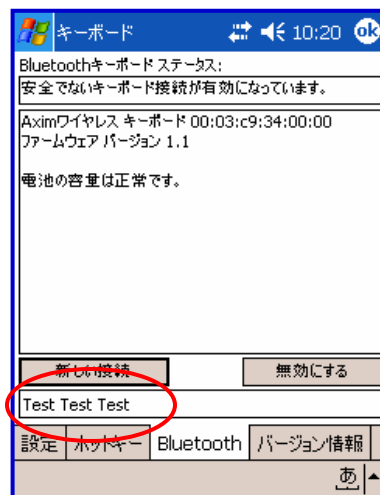
10. [安全な]ボックスをオンにして安全な接続を選択した場合は、**Pocket PC Bluetooth システム ソフトウェア**がパスキーを要求します。ここに示す **[Bluetooth パスキー]**ダイアログ ボックスが表示されます(表示されるダイアログ ボックスはデバイスによって異なります)。Pocket PC の画面上のキーボードを使用してパスキーを入力し、ウィンドウの右上にある[OK]をタップします。左<Fn>キーと数字キーを使用して **Axim™**ワイヤレス キーボードで同じパスキー番号を入力します。入力し終わったら、<Enter>キーを押します。
- 注：パスキーには、"1234"など、数値しか使用できません。

11. パスキーが正しく入力されなかった場合、接続は失敗します。接続に失敗した場合は、再びキーボードの<Ctrl>キー、左<Fn>キー、右<Fn>キーを同時に押し、[接続]をタップする必要があります。
- 注：パスキーは、最初に画面上のキーボードで入力して[OK]をタップし、その後でキーボードを使用して入力してください。完了したら、<Enter>キーを押します。



12. 接続プロセスが成功すると、「安全なキーボード接続が有効になっています」というメッセージが **Pocket PC** デバイスに表示されます。安全接続モードは、**Axim™**ワイヤレス キーボードと **Pocket PC** デバイスを使用したワイヤレス接続の標準モードです。

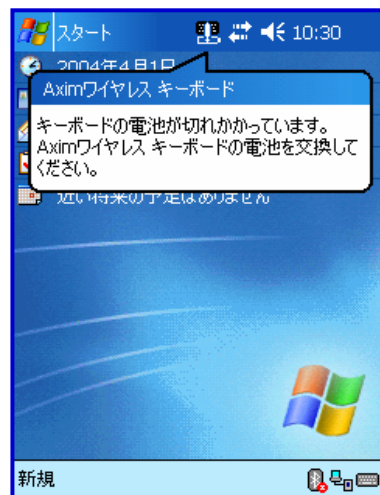
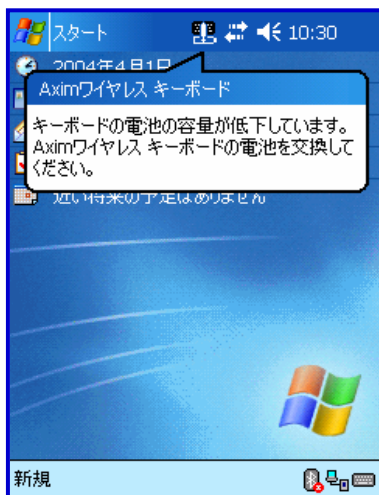
13. [Bluetooth ステータス]ページに、Pocket PC デバイスと Axim™ワイヤレス キーボード間の Bluetooth 接続の現在の状態が表示されます。また、接続をテストするためのテキストを入力することもできます。このページには、新しい接続を設定するボタンおよび既存の接続を無効にするボタンがあります。



14. [Bluetooth ステータス]ページには、キーボードの電池情報が表示されます。電池には次の 3 つの状態があります。

- a. [正常] – 電池は正常な容量状態です。
- b. [低下] – 電池の容量が、交換が必要な限界量に低下したことを示します。
- c. [電池切れ] – 電池が切れそうで、これ以上使用することができません。

15. キーボードの電池が[低下]または[電池切れ]に達すると、メッセージが表示されます。

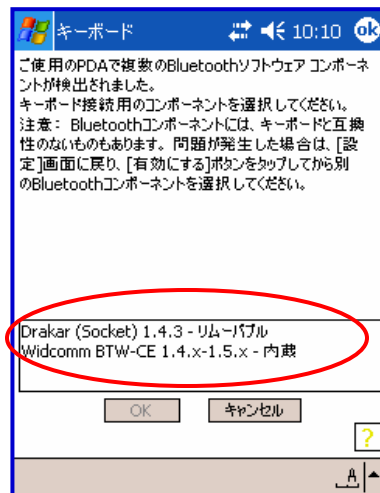




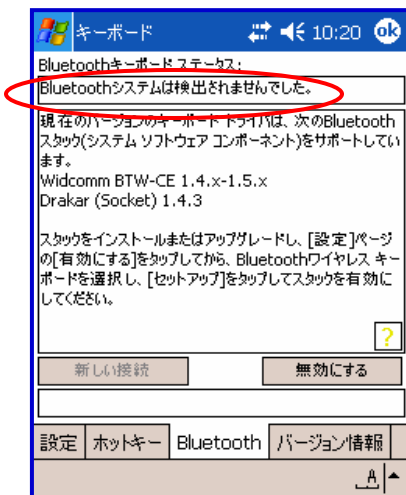


16. ハンドヘルド デバイスにインストールされている Bluetooth スタックのバージョンを調べるには、Bluetooth アイコンをスタイラスでタップし、Bluetooth スタック アプリケーションを開きます。Bluetooth の[バージョン情報]タブを見つけ、タップして関連ページを開きます。インストールされている Bluetooth スタックのバージョンとビルドが表示されます。

17. [セットアップ]をタップした際に Pocket PC デバイスに複数の Bluetooth スタックが表示された場合は、キーボード アプリケーションによって[スタック選択]ダイアログ ボックスが表示されます。PC Pocket デバイスに Bluetooth システムが組み込まれている場合は、その Bluetooth スタックを使用してください (Widcomm BTW-CE など)。デバイスで SDIO カードなどのリムーバブル Bluetooth カードを使用している場合は、別の Bluetooth スタックを使用する必要があります (Socket Communications または Microsoft 提供の Bluetooth スタックなど)。不適切なスタックを選択すると、接続できません。その場合は、[設定]ページの[有効にする]をタップして[スタック選択]ダイアログ ボックスに戻り、[Axim™ワイヤレス キーボード]を選択し、[セットアップ]をタップしてください。



18. 初期セットアップの時点やその後(電源投入後など)、サポートされている Bluetooth スタックをキーボード ドライバによって検出できなかった場合は、[BT] ページに「Bluetooth システムは検出できませんでした」というメッセージが表示されます。Pocket PC デバイスには Widcomm スタック バージョン $\geq 1.4.x$ 以降がプレインストールされており、キーボード ソフトウェアはこのバージョンをサポートしているため、Pocket PC デバイスについては、このメッセージが表示されることはありません。ただし、Bluetooth スタックの非互換バージョンでデバイスをアップグレードした場合は、このメッセージが表示されるか、ソフトウェアが正常に動作しない場合があります。このような場合は、キーボード ソフトウェアを更新バージョンに置き換える必要があります。



## Axim™ ワイヤレス キーボードを再接続する

前述の手順によって、Pocket PC デバイスとキーボード間の初回 Bluetooth ワイヤレス 接続が確立され、結合が設定されます。接続が維持されている間は、キーボードからの文字入力が有効です。

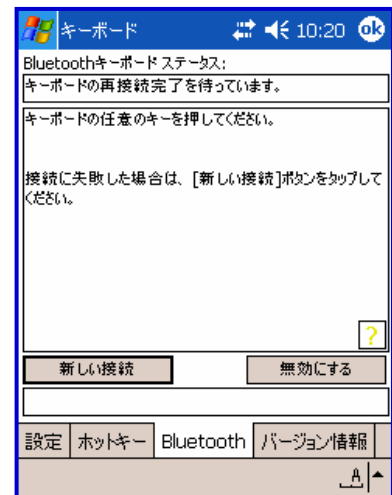
信頼性の高い Bluetooth 接続ですが、次のようなさまざまな理由によって接続が切れる場合があります。

- キーボード カバーが閉じているときは、キーボード回路の電源がオフになるので、Bluetooth 接続が切れます。
- 節電機能により、アイドル時間(入力操作のない約 3 分間)の後、キーボードの電源は自動的にオフになります。
- Pocket PC デバイスの電源がオフになると、確立された Bluetooth 接続が切れます。
- Pocket PC デバイスとキーボードの間の距離がワイヤレス範囲(10m まで)を超えると、以前に確立された接続が切れます。

これらの状態のいずれかが発生した場合、接続が切れ、ソフトウェアは待機モードに切り替わります。接続を復元するには、キーボードと Pocket PC デバイスの電源がオンであること、および双方の距離が範囲内であることを確認して、キーボードの任意のキーを押します。詳細については、「[非安全モードで再接続する](#)」を参照してください。2 ～ 3 秒で接続が再確立されますが、Pocket PC デバイスの Bluetooth システムがビジー状態の場合は接続が再確立するまでに時間がかかることがあります。たとえば、Pocket PC デバイスの電源がオフであった場合は、Bluetooth システムの再初期化に 10 秒程度の時間がかかることがあります。

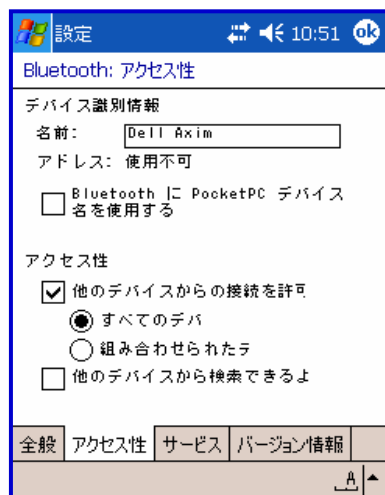
注：<Ctrl>キー、左<Fn>キー、および右<Fn>キーを同時に押さないでください。これらのキーを同時に押すと、キーボードと Pocket PC デバイス間の結合が解除されます。結合が解除された場合は、前述の手順に従って新たに接続を確立する必要があります。

接続が解除された場合でも、Pocket PC デバイスとキーボード間の結合は維持されます。キーボードを再接続できるのは、結合されている Pocket PC デバイスだけで、Pocket PC デバイスが受信するのは結合されているキーボードからの入力信号だけです。結合を解除するには、<Ctrl>キーを押しながら左<Fn>キーと右<Fn>キーを 1 秒間(緑色の LED が速く点滅するまで)押します。通常、キーボードを別の Pocket PC デバイスで使用する場合や Pocket PC デバイスで別のキーボードを使用する場合以外、結合を解除する必要はありません。したがって、<Ctrl>キー、左<Fn>キー、右<Fn>キーの組み合わせを、通常の操作中には使用しないでください。このキーの組み合わせを使



用した場合 [Pocket PC デバイスと連動するようにキーボードを設定する](#) セクションで説明されている手順に従って、新たに接続を確立する必要があります。

## 非安全モードで再接続する



当初、非安全モードで接続を設定し、Bluetooth ソフトウェアが待機モードに戻ると、任意のキーをタップしても、自動的に再接続することはできません。これは、Bluetooth スタックが以前にペアリングされていたデバイスからの信号を待っているためです。非安全接続を使用しながらキーボードを検出モード(<Ctrl> キー、**左<Fn>** キー、**右<Fn>** キーを同時に押す)にしなくても通信できるようにするには、[Bluetooth の設定]で[すべてのデバイス]を選択する必要があります。これによって、Pocket PC は、ペアリングされていないデバイスから Bluetooth 信号を受信できるようになります。

非安全モードでキーボードを再接続するための正しい設定


安全モードおよび非安全モードのいずれにおいても、キーボードと Pocket PC を範囲内に配置して電源を入れた後、ホットキーを使用して待機モードからの再接続が可能になります。ただし、非安全モードでホットキーによる再接続が可能かどうかは、Pocket PC にインストールされている Bluetooth スタックの設定によって異なります。[Bluetooth/ユーザー補助]の設定は次のとおりです。[すべてのデバイスの接続を許可]および[ペア デバイスのみ] : Bluetooth スタックは、セキュリティ保護済みのパスキーで認証されたデバイスからの再接続要求にのみ応答します。詳細については [Pocket PC デバイスと連動するようにキーボードを設定する](#) のセクション 10 ～ 12 を参照してください。

メーカーによって Bluetooth の設定画面は異なりますが、通常、[ユーザー補助]タブの [Bluetooth の設定]には[すべてのデバイス]オプションと[ペア デバイスのみ]オプションがあります。これらの画面には、[Today]画面の Bluetooth アイコンをタップするか、または[スタート]メニューから[設定]、[接続]タブを選択して直接アクセスできます。

**注：** 安全な接続とは異なり、非安全接続を使用している場合は、傍受に対するビルトイン信号暗号化は機能しません。

安全な接続の詳細については、「[安全な接続の概要](#)」を参照してください。

# キーボードをカスタマイズする

キーボード ソフトウェアを **Pocket PC** デバイスにインストールしたら、そのオプションをカスタマイズできます。カレンダー、連絡先、その他のアプリケーションを使用中は、キーボードアイコン  が画面の右下隅に表示されます。

- [入力方法]ツールバーを表示するには、このキーボード アイコンを 1 回タップします。
- キーボード コントロール パネルを表示するには、[入力方法]ツールバーのキーボードアイコンをタップします。

**注：** [Today]画面上のキーボード アイコンを 1 回タップすると最初に、キーボード コントロール パネルが表示されます。次にこのキーボード アイコンをタップすると、[入力方法]ツールバーが表示されます。

## [入力方法]ツールバー

[入力方法]ツールバーに表示されるアイコンは 4 つあります。この場合は、入力方法として **Axim™**ワイヤレス キーボードが選択されていることを前提とします。左端のアイコンは、**Bluetooth** 接続の状態を表示します。表示される状態には次の 3 つがあります。このアイコンをタップしたままにすると、状態を説明したテキスト メッセージが表示されます。



- Bluetooth 接続がアクティブになっていることを示します。



- ドライバが、キーボードとの再接続の待機中であることを示します。



- 接続が設定されていないことを示します。

他の 3 つのアイコンは、キーボード ドライバのその他の機能に関する状態を示します。



- キーボードのクリック音のオン/オフを切り替えるには、このスピーカー アイコンをタップします。



- キーボード コントロール パネルにアクセスするには、このキーボード アイコンをタップします。この 2 つ目のキーボード アイコンは、画面の右下隅に表示されるキーボードアイコンの上部に表示されます。



- キーボードのヘルプ トピックやトラブルシューティング ヒントにアクセスするには、このヘルプ アイコンをタップします。

## キーボード コントロール パネル

### [設定]タブ

- 有効にするキーボードを選択するには、[有効にする](次の画面から、Axim™ワイヤレス キーボードへのアクセスを有効にできます)をタップします。すべてのキーボードへのアクセスをオフにするには、[無効にする]をタップします。
- キーボードが **Caps Lock** モードまたは **Num Lock** モードかを示すマークを表示するには、[CapsLock/NumLock 通知を表示する]オプションをオンまたはオフにします。
- [Today]画面の右下隅にキーボード アイコンを表示するかどうかを選択するには、"[Today]画面にアイコンを表示する"オプションのチェックをオンまたはオフにします。
- キーの反復速度を上げるには、[キー反復速度]スライダを左にドラッグします。
- キーの反復速度を下げるには、[キー反復速度]スライダを右にドラッグします。
- キー反復遅延を大きくするには、[キー反復遅延]スライダを右にドラッグします。
- キー反復遅延を小さくするには、[キー反復遅延]スライダを左にドラッグします。
- インストールされている言語レイアウトを確認するには、[レイアウト]のドロップダウン ボックスの下矢印をタップします。

### [ホットキー]タブ

- 番号の隣の下矢印をタップし、その番号に関連付けるアプリケーションを選択します。<Alt>キー、<L**Fn**>キー、数字キーを組み合わせると(たとえば、<Alt>キー、<L**Fn**>キー、<4>キー)、選択したアプリケーションが起動します。この方法で、10 までのアプリケーションを指定できます(Bluetooth キーボードには 2 つの **Fn** キーがあります。スペースバーの左側には青い<Fn>キーがあり、<L**Fn**>と記されています。スペースバーの右側には緑色の<Fn>キーがあり、<R**Fn**>と記されています。

### [BT]タブ

- このタブからは、Axim™ワイヤレス キーボードのすべての機能にアクセスできます。

### [バージョン情報]タブ

- [バージョン情報]タブには、Pocket PC デバイスにインストールされているキーボード ソフトウェア バージョンが表示されます。

## Axim™ ワイヤレス キーボードを無効にする

Axim™ ワイヤレス キーボードが不要になった場合は、[BT]ページまたは[設定]ページの[無効にする]ボタンをタップすることによってキーボード ドライバを無効にできます。無効にすると、「接続が設定されていません」というメッセージが[BT]ページに表示されます。

注：Axim™ ワイヤレス キーボードを無効にしても、Bluetooth ワイヤレス信号が自動的にオフになるわけではありません。逆に、Axim™ ワイヤレス キーボード ドライバがまだ有効になっている間に Bluetooth ワイヤレス信号をオフにしても、オンに戻ってしまいます。つまり、Bluetooth スタックの動作原理によって、数秒後に Bluetooth ワイヤレス信号は自動的にオンに戻ります。Bluetooth ワイヤレス信号をオフにするには、最初に Axim™ ワイヤレス キーボードを無効にする必要があります。

接続を再び有効にするには、[BT]ページの[新しい接続]ボタンまたは[設定]ページの[有効にする]ボタンをタップします。詳細については、「[Pocket PC デバイスと連動するようにキーボードを設定する](#)」を参照してください。

## キーボード ステータス ライト

キーボードのキーの列の上には、キーボードのステータスを示すライトがあります。

- キーボード ステータス ライトが緑色で速く点滅している場合(1 秒に 1 回)は、検出モードになっています。検出モードでは、Pocket PC デバイスによってキーボードが検出できる状態になっています。キーボードを検出モードにするには、<Ctrl>キー、[左<Fn>](#)キー、[右<Fn>](#)キーの組み合わせを使用します。
- キーボード ステータス ライトが緑色でゆっくり(4 秒に 1 回)点滅している場合は、キーボードが Pocket PC デバイスに接続され、使用可能な状態になっていることを示します。
- キーボード ステータス ライトが電源投入後 5 秒間赤く点灯している場合は、電池を交換してから通常の操作を再開してください。
- キーボードが Pocket PC デバイスに接続されていない場合、ステータス ライトは消灯したままです。この状態は、接続または再接続が確立されていない場合、または接続が切れた場合に発生します。



## 安全な接続の概要

安全な接続が確立されると、ペアリングされたデバイス間で、永続的なセキュリティ結合が共有されます。**2** 台のデバイスがリンク キーを作成してやり取りすると、この結合が確立されます。このプロセスを"ペアリング"といいます。リンク キーは固有の **Bluetooth** デバイス アドレスに基づいて内部生成される任意の数字で、ユーザー定義パスキーとしても使用されます。

**Bluetooth** 接続では通信が傍受される場合があります。このような脆弱性から通信を保護するために、安全な接続を設定するようにお勧めします。安全な接続では、仮想ケーブルを生成することによって、キーボードから **Pocket PC** デバイスに送られるデータが暗号化されます。これは、**Pocket PC** デバイスとキーボード間に **1 対 1** の関係が確立され、他のデバイスからの接続要求に応答しないことを意味します。一方、**Pocket PC** デバイスは、他のデバイスとの新しいペアリング関係を生成する機能を保持します。

**Pocket PC** デバイスは、**Bluetooth** ワイヤレス信号帯域を探索してキーボードを検出します。**[安全な]**ボックスをオンにした場合は、パスキーの入力が求められます。キーボードの検索が完了すると、双方の範囲内にある **Pocket PC** デバイスとキーボードの電源を投入するたびに、ユーザー介入なしにデバイス同士が再接続されます。

# Axim™ ワイヤレス キーボードを使用する

Axim キーボードおよびキーボード ソフトウェアは、日本語のデスクトップ キーボードと同様の機能を提供するように特別に設計されています。

- 左側の<Shift>キーを使用すると、英語(英数字)入力モードに切り替えることができます。このキーは、日本語と英語を切り替えるのではなく、IME を有効にする機能を持ちます。
- 左スペースバーを使用すると、文字の半角/全角の切り替えや IME の無効化ができます。
- 右スペースバーを使用すると、カタカナ入力やひらがな入力に切り替えることができます。

次の IME ショートカット表にキーの組み合わせを示します。

- ダッシュ"-"でつないだコマンドは、キーの組み合わせを示し、一度にすべてのキーを押すことを意味します。
- プラス記号"+"でつないだコマンドは、最初のキーの組み合わせを押して離れた後に"+"の後のキーを押すことを意味します。
- キーボードには、2 つの色分けされたファンクション キーがあります(青い<Fn>と緑色の<Fn>キー)。これらのキーを使用すると、デバイス間を移動したり、番号や記号にアクセスしたりできます。次の表では、スペースバーの左側にある青い<Fn>キーを<LFn>キーと表記します。また、スペースバーの右側にある緑色の<Fn>キーを<RFn>と表記します。

## IME ショートカット

Axim™ ワイヤレス キーボードを使用する際に次のショートカットを使用すると、機能を自在に使いこなすことができます。

操作	ショートカット
[入力方法]ツールバーの表示/非表示を切り替えます。	<LFn>--<左スペースバー>
キーボード コントロール パネルを起動します。	<LFn>--<右スペースバー>
英語(英数字)入力に切り替えます。IME をオンにします。	<RFn>--<左 Shift>
半角文字に切り替えます。	<RFn>--<Shift>--<左スペースバー>
全角文字に切り替えます。	<RFn>--<左スペースバー>
カタカナに切り替えます。	<RFn>--<Shift>--<右スペースバー>
ひらがなに切り替えます。	<RFn>--<右スペースバー>
IME をオフにします。	<Alt>--<RFn>--<左スペースバー>
Pocket PC デバイスをオフにします。注：キーボード キーを押してもオンには戻りません。	<RFn>--<Backspace>



## カーソルを移動する/テキストをハイライトする

カーソルの移動や配置、編集対象テキストの選択は、次のキーの組み合わせを使用すると簡単に行うことができます。

操作	ショートカット
カーソルを 1 単語分左に移動し(戻し)ます。	<Ctrl>--<⇐>
カーソルを 1 単語分右に移動し(進め)ます。	<Ctrl>--<⇒>
カーソルの左側の文字を選択(ハイライト)します。	<LFn>--<⇐>
カーソルの右側の文字を選択(ハイライト)します。	<LFn>--<⇒>
前の行を選択(ハイライト)します。	<LFn>--<↑>
次の行を選択(ハイライト)します。	<LFn>--<↓>
カーソルの左側の単語を選択(ハイライト)します。	<Ctrl>--<LFn>--<⇐>
カーソルの右側の単語を選択(ハイライト)します。	<Ctrl>--<LFn>--<⇒>
前の段落を選択(ハイライト)します。	<Ctrl>--<LFn>--<↑>
次の段落を選択(ハイライト)します。	<Ctrl>--<LFn>--<↓>
行頭に移動します。	<RFn>--<⇐>
行末に移動します。	<RFn>--<⇒>
1 ページ分上に移動します。	<RFn>--<↑>
1 ページ分下に移動します。	<RFn>--<↓>
カーソルをドキュメントの冒頭に移動します。	<Ctrl>--<RFn>--<⇐>
カーソルをドキュメントの最後に移動します。	<Ctrl>--<RFn>--<⇒>
カーソルをページの冒頭に移動します。	<Ctrl>--<RFn>--<↑>
カーソルをページの最後に移動します。	<Ctrl>--<RFn>--<↓>

## 画面上のボタンおよび編集のためのショートカット

"OK"や"X"などの画面上のボタンのアクティブ化やアプリケーションの編集機能へのアクセスは、キーボードから行うことができます。該当するキーボード ショートカットを確認するには、次の表を参照してください。

画面上のボタンまたは編集機能	ショートカット
OK	<LFn>--<Enter>
送信します(画面の[送信]ボタンのタップをシミュレーションします)。	<LFn>--<.>
ウィンドウを閉じたり、アプリケーションを終了したりします。	<LFn>--<X>
ESC シーケースを実行します。	<LFn>--<Tab>
NumLock モードを有効にします。	<LFn>--<Caps Lock>
CapsLock モードを有効にします。	<Caps Lock>

新しい項目を作成します。	<Ctrl>–<N> または <LFn>–<N>
選択したテキストを切り取ります。	<Ctrl>–<X>
選択したテキストをコピーします。	<Ctrl>–<C>
切り取ったテキストまたはコピーしたテキストを貼り付けます。	<Ctrl>–<V>
直前の操作を元に戻します。	<Ctrl>–<Z>
すべてを選択します。	<Ctrl>–<A>

## アプリケーションの起動や切り替えを行う

ソフトウェア アプリケーションを起動したり切り替えたりする場合は、次の表を参照してください。

操作	ショートカット
[プログラム]画面にアクセスします。	<LFn>–<C>
[設定]画面にアクセスします。	<LFn>–<V>
[Today]画面を起動します。	<LFn>–<Z>
予定表アプリケーションを起動します。	<LFn>–<A>
連絡先アプリケーションを起動します。	<LFn>–<S>
受信トレイ アプリケーションを起動します。	<LFn>–<D>
仕事アプリケーションを起動します。	<LFn>–<F>
メモを起動します。	<LFn>–<J>
Word を起動します。	<LFn>–<K>
Excel を起動します。	<LFn>–<L>
www を起動します。	<LFn>–<;>
ユーザーが選択した 10 までのアプリケーションを起動します(詳細については、「[ホットキー]タブ」セクションを参照)。	<Alt>–<LFn>–<数字キー>
開いているプログラムまたは最近使用したプログラムを切り替えます。	<Alt>–<Tab> (目的のプログラムが選択されるまで<Alt>キーを押したまま<Tab>キーを押し、キーを離してプログラムをアクティブにします)。

## メニューおよびツールバーへのアクセス

次のコマンドを使用すると、Axim™ワイヤレス キーボードのプログラム メニュー、サブメニュー、およびツールバーにアクセスできます。

操作	キー コマンド
<p>Pocket PC デバイス画面下部のプログラムのメニューバーをアクティブにし、メイン メニュー項目を選択するには、次の 2 つのいずれかの方法を使用します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. &lt;Alt&gt;キーを押して離し、矢印キーを使用して目的のメイン メニュー項目がハイライトされるまで左右にスクロールします。</li> </ol> <p>または</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2. &lt;Alt&gt;キーを押したまま、メイン メニュー項目の最初の文字と一致する文字キーを押します(Word の[ツール]メニューにアクセスするには、&lt;Alt&gt;キーを押したまま&lt;T&gt;を押します)。</li> </ol>	<p>&lt;Alt&gt;+&lt;⇒&gt;または &lt;Alt&gt;+&lt;⇐&gt;</p> <p>&lt;Alt&gt;–メイン メニュー項目の最初の文字</p>
<p>プログラムのサブメニューにアクセスするにはまず、メイン メニュー項目を選択し、上矢印キーまたは下矢印キーを使用してサブメニュー間を移動します。</p> <p>&lt;Enter&gt;キーを押してサブメニュー項目を選択します。</p>	<p>&lt;⇑&gt;または&lt;⇓&gt;</p> <p>&lt;Enter&gt;</p>
<p>Pocket PC デバイス画面上部のプログラムのツールバーにアクセスするには</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. &lt;Ctrl&gt;キーを押したまま&lt;Tab&gt;キーを押します。</li> <li>2. 左矢印キーまたは右矢印キーを使用して目的のツールバー項目をハイライトします。</li> <li>3. &lt;Enter&gt;を押してハイライトしたツールバー項目を選択します。</li> <li>4. 上矢印キーまたは下矢印キーを使用して目的のサブメニュー項目をハイライトします。</li> <li>5. &lt;Enter&gt;キーを押してハイライトしたサブメニュー項目を選択します。</li> </ol>	<p>&lt;Ctrl&gt;–&lt;Tab&gt;</p> <p>&lt;⇐&gt;または&lt;⇒&gt;</p> <p>&lt;Enter&gt;</p> <p>&lt;⇑&gt;または&lt;⇓&gt;</p> <p>&lt;Enter&gt;</p>

## 各言語および拡張文字セット

文字	説明	ショートカット
Á, É, Í, Ó, Ú, Ý	アキュート アクセント	<Ctrl>–<RFn>–<U>+<Shift>–<文字キー>
á, é, í, ó, ú, ý	アキュート アクセント	<Ctrl>–<RFn>–<U>+<文字キー>
Â, Ê, Î, Ô, Û	サーカムフレックス アクセント	<Ctrl>–<Shift>–</>+<Shift>–<文字キー>
â, ê, î, ô, û	サーカムフレックス アクセント	<Ctrl>–<Shift>–</>+<文字キー>
Ä, Ë, Ī, Ö, Ü, Ÿ	ウムラウト	<Ctrl>–<:>+<Shift>–<文字キー>
ä, ë, ī, ö, ü, ÿ	ウムラウト	<Ctrl>–<:>+<文字キー>
À, È, Ì, Ò, Ù	グレーブ アクセント	<Ctrl>–<RFn>–<:>+<Shift>–<文字キー>
à, è, ì, ò, ù	グレーブ アクセント	<Ctrl>–<RFn>–<:>+<文字キー>
Ã, Õ, Ñ	チルダ アクセント	<Ctrl>–<RFn>–<P>+<Shift>–<文字キー>
ã, õ, ñ	チルダ アクセント	<Ctrl>–<RFn>–<P>+<文字キー>
Å	リング アクセント	<Ctrl>–<LFn>–<:>+<Shift>–<A>
å	リング アクセント	<Ctrl>–<LFn>–<:>+<A>
Ç	セディラ	<Ctrl>–<,>+<Shift>–<C>
ç	セディラ	<Ctrl>–<,>+<C>
Ø	大文字 O スラッシュ	<Ctrl>–</>+<Shift>–<O>
ø	小文字 o スラッシュ	<Ctrl>–</>+<O>
Æ	Æ	<Ctrl>–<RFn>–<Y>+<Shift>–<A>
æ	æ	<Ctrl>–<RFn>–<Y>+<A>
Œ	Œ	<Ctrl>–<RFn>–<Y>+<Shift>–<O>
œ	œ	<Ctrl>–<RFn>–<Y>+<O>
ß	ベータ	<Ctrl>–<RFn>–<Y>+<S>
?	疑問符	<Shift>–<⇧>
¿	逆疑問符	<Ctrl>–<Alt>–<⇧>
!	感嘆符	<RFn>–<Q>
¡	逆感嘆符	<Alt>–<RFn>–<Q>
•	ブレット	<Ctrl>–<Alt>–<:>
°	度	<Ctrl>–<Alt>–<D>
μ	マイクロ記号	<Ctrl>–<Alt>–<U>
¶	段落記号	<Alt>–<RFn>–</>
§	セクション	<Ctrl>–<Alt>–<S>
@	アット マーク	<LFn>–<:>
©	コピーライト	<Ctrl>–<Alt>–<C>
™	商標	<Ctrl>–<Alt>–<T>
®	登録商標	<Ctrl>–<Alt>–<R>
£	イギリス ポンド記号	<Ctrl>–<Alt>–<P> or <RFn>–<,>


文字	説明	ショートカット
¥	円記号	<Ctrl>–<Alt>–<Y>
₣	フラン記号	<Ctrl>–<Alt>–<F>
£	リラ記号	<Ctrl>–<Alt>–<L>
€	ユーロ記号	<Ctrl>–<Alt>–<E>または<RFn>–<, >
¢	セント記号	<Alt>–<RFn>–<R>
\$	ドル記号	<RFn>–<R>
½	2 分の 1	<Ctrl>–<Alt>–<LFn>–<W>
¾	4 分の 3	<Ctrl>–<Alt>–<LFn>–<E>
¼	4 分の 1	<Ctrl>–<Alt>–<LFn>–<R>
±	プラスマイナス記号	<Ctrl>–<Alt>–<; >
÷	除算記号	<Ctrl>–<Alt>–<- >
#	番号記号	<RFn>–<E>
%	パーセント記号	<RFn>–<T>
^	キャレット	<Shift>–</ >
&	アンパサンド	<RFn>–<Y>
*	アスタリスク	<Shift>–<: >
(	左かっこ	<RFn>–<  >
)	右かっこ	<RFn>–<O>
{	左中かっこ	<RFn>–<- >
}	右中かっこ	<RFn>–<¥ >
~	チルダ	<RFn>–<P>
	垂直バー	<Shift>–<¥ >
\	バック スラッシュ	<RFn>–</ >
`	グレイブ	<RFn>–<: >
[	左大かっこ	<LFn>–<- >
]	右大かっこ	<LFn>–<¥ >

## よく寄せられる質問

**Q：**キーボードとハンドヘルド デバイスを範囲内に置いて電源を投入しましたが、キーを押しても再接続されないのはなぜですか。

初期接続を非安全モードで設定し、[Bluetooth ユーザー補助]を[ペア デバイスのみ]に設定した場合、キーボードは自動的に再接続されません。自動的に再接続するには、次のいずれかのパラメータを変更する必要があります。具体的には、安全モードで接続を再確立する(「[Pocket PC デバイスと連動するようにキーボードを設定する](#)」を参照)か、または、[ユーザー補助]タブの[Bluetooth の設定]のデフォルト設定を変更(「[非安全モードで再接続する](#)」を参照)してください。

**Q：**キーボードで入力しようとしても入力できません。どうすればよいでしょうか。

- Pocket PC デバイスの電池が充電されていることを確認します。
- 十分な電源がキーボードに供給されていることを確認します。
- 手順に従ってキーボード ソフトウェアが正しくインストールされていることを確認します。
- キーボード コントロール パネルの[BT]タブを選択して Axim™ワイヤレス キーボードが有効になっていることを確認します。
- キーボード コントロール パネルの[設定]タブを選択して、適切なキーボード タイプが選択されていることを確認します。[有効にする]をタップしたら、Bluetooth ワイヤレス キーボードを選択します。
- キーボードのヘルプアイコンを使用してヘルプを起動します。 

**Q：**Bluetooth ワイヤレス信号をオフにしてもオンに戻ってしまいますが、どうすればよいでしょうか。

Bluetooth ワイヤレス信号をオフにするには、最初に Axim™ワイヤレス キーボードを無効にする必要があります。詳細については、「[Axim™ワイヤレス キーボードを無効にする](#)」セクションを参照してください。

**Q：**キーボードを接続し、Pocket PC デバイスでも問題なく文字を入力できますが、アイドル状態が一定時間続くと、接続が切断されます。

「[Axim™ワイヤレス キーボードを再接続する](#)」セクションを参照してください。

**Q：**キーボード ドライバのアンインストールはどのようにすればよいですか。

[スタート]、[設定]、[システム]タブ、[プログラムの削除]の順に選択します。アプリケーションのリストから[Axim™ワイヤレス キーボード ドライバ]を選択し、[削除]をタップします。

**Q：**キーボード コントロール パネルの[シリアル]タブと[赤外線]タブはどのように使用するのでしょうか。

キーボード コントロール パネルの[設定]タブの[接続シリアル キーボード]オプションまたは[赤外線ワイヤレス キーボード]オプションを選択して設定すると、キーボード コントロール パネルに[シリアル]タブまたは[赤外線]タブ、あるいは両方が追加されます。入力方法を **Bluetooth** ワイヤレス キーボードに戻しても、キーボード コントロール パネルには[シリアル]タブや[赤外線]タブが残ります。シリアル キーボードは、物理接続またはワイヤレス接続を使用して **Pocket PC** デバイスと通信します。[シリアル]タブを使用するのは、物理接続を使用する **Stowaway** キーボードのユーザーのみです。赤外線キーボードは、サイト接続の赤外線ラインを使用して **Pocket PC** デバイスと通信します。[赤外線]タブを使用するのは、**Stowaway** 赤外線ワイヤレス キーボードのユーザーのみです。**Axim™** ワイヤレス キーボードのユーザーはこのタブを無視してもかまいません。

**Q：**サポートされている **Bluetooth** コンポーネントを検出できないというエラー メッセージがキーボード ドライバによって表示されました。どうしたらよいですか。

キーボード ドライバの現バージョンは、**Windows CE (BTW-CE)**バージョン $\geq 1.4.x$ , **Drakar (Socket)** および **Microsoft Bluetooth** スタ以降の **Widcomm Bluetooth** スタックソフトウェアをサポートしています。他のバージョンの場合は、**Bluetooth** スタックまたはキーボード ドライバがアップグレードされているかどうかを確認する必要があります。**Pocket PC** デバイスにインストールされている **Bluetooth** スタックのバージョンを調べるには、**Bluetooth** アイコンをスタイラスでタップし、**Bluetooth** スタック アプリケーションを開きます。**Bluetooth** の[バージョン情報]タブを見つけてタップし、関連ページを開きます。インストールされている **Bluetooth** スタックのバージョンとビルドが表示されます。

キーボード ドライバによって **Pocket PC** デバイス上に複数の **Bluetooth** コンポーネントが検出された場合(ビルトインの **Bluetooth** トランスミッタとリムーバブル **Bluetooth** カードがある場合など)は、使用可能なコンポーネントを選択するダイアログ ボックスが表示されます。**Bluetooth** キーボードで使用する **Bluetooth** コンポーネントを選択して、[OK]をタップします。

**注：** **Bluetooth** には、キーボードと互換性のないものもあります。キーボードに接続できない場合は、[設定]ページに戻り、再び[有効にする]をタップして **Bluetooth** ワイヤレス キーボードを選択し、[セットアップ]をタップし、別の **Bluetooth** コンポーネントを選択する必要があります。

## 法的告知

本書に含まれている情報は予告なく変更される場合があります。

©2004 Dell Inc. All rights reserved.

本書は、Dell Inc.の書面による許可がある場合を除き、いかなる方法による複製も禁じられています。

## 商標

Dell および Axim™は Dell Inc. の商標です。WIDCOMM および WIDCOMM ロゴは WIDCOMM, Inc. の商標です。Bluetooth および Bluetooth ロゴは Bluetooth SIG, Inc., U.S.A が所有する商標で、WIDCOMM, Inc. にライセンス供与されています。

ActiveSync、Windows Mobile、Windows、および Outlook は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。Think Outside および Stowaway は Think Outside Corporation の登録商標です。本書では、当該商号商標権または製品に対する権利の所有者を言及する際にその他の商標および商号を使用する場合があります。Dell は、自社以外の商標または商号に対するいかなる所有権も放棄します。

### ライセンス供与対象ソフトウェア

© Copyright 2000 – 2004, WIDCOMM, Inc. (“WIDCOMM”).All rights reserved.

**警告：**本ソフトウェアおよび付属文書は著作権法と国際条約によって保護されています。本ソフトウェアまたはその一部を不正に複製あるいは配布すると、民法/刑法の厳罰対象となり、当該法律で適用しうる最も厳しい刑事訴追を受ける可能性があります。本ソフトウェアの使用は、当該ソフトウェアに付属するエンド ユーザー ライセンス契約条項の拘束を受けます。エンド ユーザー ライセンス契約または本書に特に記載のない限り、WIDCOMMの明確な事前の書面による許可なく、ハードコピーまたはオンラインいずれの形式にかかわらず提供されている本ソフトウェアに付属のドキュメントのいかなる部分も、複製したり、データベースまたは検索システムに保存したり、何らかの形式または手段で配布したり、派生物(翻訳、変換、翻案など)の作成に使用したりすることはできません。

## カスタマ サポート

カスタマ サポートを提供している適切な窓口情報を確認するには、お手持ちの Dell™ Axim™の『オーナーズ マニュアル』の「デルの問い合わせ先」を参照してください。



## 電池に関する重要情報

- 電池はお子様の手の届かない場所に保管してください。
- 別の種類の電池や古い電池と一緒に使用しないでください。
- 消耗した古い電池は即座に交換し、適切な方法で再資源化するか廃棄してください。新しい電池を挿入する前に電池室を清掃してください。電池から染み出た液体が皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。
- 1か月以上装置を使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 電池をこじ開けたり穴を開けたりしないでください。電池の破損の原因となります。
- 廃棄時に電池を燃やさないでください。

電池の扱いを誤ると、火傷の原因となります。電池を分解しないでください。破損した電池や液漏れした電池は注意して扱ってください。電池が破損していると、電池から電解液が漏れ出し、怪我をする場合があります。

## タイプ入力を行う際の推奨事項

調査によると、肉体的な不快感、神経、腱、および筋肉の損傷は、反復的な動作、不適切にセットアップされた作業場、不自然な姿勢、および作業習慣の問題に関連する可能性があることが指摘されています。

損傷のリスクを軽減するために、次の注意事項に従ってください。

- 1時間ごとに何度か立ち上がり、ストレッチを行ったり、歩いたりします。
- 時々、別の作業を行います。反復動作は避けます。ショートカット キーを使用して、効率的に動作し、反復動作や不自然な動作を避けます。
- やさしく軽くタイプ入力します。
- 肩の力を抜き、両肘が体の横にくるようにします。キーボードを確認するために姿勢を変える必要がないようにキーボードの位置を調節します。
- タイプ入力時に手首を曲げる必要がないように自分の位置を調整し、鋭い角に手首を置かないようにします。

入力作業時に手、手首、腕、肩、首、背中などに不快なしびれを感じた場合は、資格のある専門医の診察を受けてください。

## Bluetooth®デバイスに関する重要事項

Axim&™ ワイヤレス キーボードは、緑色の LED が点灯中に無線周波(RF)エネルギーを放出する場合があります。医療機器または医療装置の近くで使用する場合は、注意が必要です。具体的な情報については、ご使用前に製品メーカーまたは医師と相談してください。妨害波をなくすには、キーボードを折りたたむか、電池を取り外してください。

**Axim™** ワイヤレス キーボードを航空機内で使用しないでください。搭乗する前にキーボードを折りたたんで **RF** を放出しないようにしてください。

## 規制事項

電磁波障害(EMI)は、自由空間に放射されたり、電力線や信号線を伝導する信号または電磁波のことで、無線航法やその他の安全対策業務に悪影響を与えたり、許可を受けた無線通信サービスの著しい品質低下、妨害、度重なる中断を引き起こします。無線通信サービスには、AM/FM の商業放送、テレビ、携帯電話サービス、レーダー、航空交通管制、ポケットベル、PCS (Personal Communication Services)がありますが、これらに限定されません。このような許可を受けたサービスは、コンピュータを含むデジタル装置などの意図的には電磁波を放射しない装置と同様に、電磁環境に影響を与えます。

電磁適合性とは、複数の電子機器が同一の電子環境において共に正常に機能できる能力を意味します。本キーボードは、認可機関の EMI に関する制限に準拠するように設計され、適合していますが、特定の設置条件で干渉が起きないという保証はありません。この装置が、無線通信サービスの干渉の発生源となっている場合(装置の電源を入れたり切ったりして判定可能)は、次の 1 つ以上の対策を行って干渉を解決してください。

- 受信アンテナの方向を変えます。
- 受信機とのキーボードの位置を変えます。
- 受信機からキーボードを遠ざけます。

必要に応じて、Dell テクニカル サポート スタッフまたは熟練無線/テレビ技術者に相談して詳しい情報を得てください。

## ワイヤレス規制情報

Axim™ エグゼクティブ キーボード(Bluetooth®ワイヤレス テクノロジー デバイス対応)は、本製品に付属のユーザー マニュアルに記載されている手順に厳密に従って使用する必要があります。各国別の認定情報については、「無線に関する認定」を参照してください。Dell Inc. は、装置の不正な改造や、Dell Inc. 指定外の接続ケーブルや装置の代用または追加が原因で生じた無線やテレビの電波障害の責任を負いません。このような不正な改造、代用、追加による障害は、ユーザーの責任で解決してください。Dell Inc. とその認定再販業者および代理店は、ユーザーが以上のガイドラインに従わなかった場合に生じた損害や政府規制の違反の責任を負いません。

Dell™ keyboards are designed, tested, and classified for their intended electromagnetic environment. These electromagnetic environment classifications generally refer to the following harmonized definitions:

- Class A is typically for business or industrial environments.
- Class B is typically for residential environments.

Information Technology Equipment (ITE), including devices, expansion cards, printers, input/output (I/O) devices, monitors, and so on, that are integrated into or connected to the computer should match the electromagnetic environment classification of the computer.

Most Dell keyboards are classified for Class B environments. However, the inclusion of certain options can change the rating of some configurations to Class A. To determine the electromagnetic classification for your computer or device, see the following sections specific for each regulatory agency. Each section provides country-specific Electromagnetic Compatibility/EMI or product safety information.

## **FCC Notices (U.S. Only)**

Most Dell keyboards are classified by the Federal Communications Commission (FCC) as Class B digital devices.

### **Class B**

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the manufacturer's instruction manual, may cause interference with radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, you are encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Consult the dealer or an experienced radio/television technician for help.

## FCC Identification Information

The following information is provided on the device or devices covered in this document in compliance with FCC regulations:

- Model number(s):

XTBT01

- Company name:

Dell Inc.  
One Dell Way  
Round Rock, Texas 78682 USA  
512-338-4400


## IC Notice (Canada Only)

Most Dell keyboards (and other Dell digital apparatus) are classified by the Industry Canada (IC) Interference-Causing Equipment Standard #3 (ICES-003) as Class B digital devices. To determine which classification (Class A or B) applies to your keyboard (or other Dell digital apparatus), examine all registration labels located on the bottom, side, or the back panel of your computer (or other digital apparatus). A statement in the form of "IC Class A ICES-003" or "IC Class B ICES-003" will be located on one of these labels. Note that Industry Canada regulations provide that changes or modifications not expressly approved by Dell could void your authority to operate this equipment.

This Class B (or Class A, if so indicated on the registration label) digital apparatus meets the requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Cet appareil numérique de la Classe B (ou Classe A, si ainsi indiqué sur l'étiquette d'enregistrement) respecte toutes les exigences du Règlement sur le Matériel Brouilleur du Canada.

## CE Notice (European Union)

Marking by the  symbol indicates compliance of this Dell keyboard to the Electromagnetic Compatibility Directive and the Low Voltage Directive of the European Union. Such marking is indicative that this Dell system meets the following technical standards:

- EN 5502 – “Information Technology Equipment – Radio Disturbance Characteristics – Limits and Methods of Measurement.”
- EN 55024 – “Information Technology Equipment - Immunity Characteristics - Limits and Methods of Measurement.”
- EN 60950 – “Safety of Information Technology Equipment.”

**NOTE:** EN 55022 emissions requirements provide for two classifications:

- Class A is for typical commercial areas.
- Class B is for typical domestic areas.

This Dell device is classified for use in a typical Class B domestic environment.

A “Declaration of Conformity” in accordance with the preceding directives and standards has been made and is on file at Dell Inc. Products Europe BV, Limerick, Ireland.

## EN 55022 Compliance (Czech Republic Only)

This device belongs to Class B devices as described in EN 55022, unless it is specifically stated that it is a Class A device on the specification label. The following applies to devices in Class A of EN 55022 (radius of protection up to 30 meters). The user of the device is obliged to take all steps necessary to remove sources of interference to telecommunication or other devices.

**Pokud není na typovém štítku počítače uvedeno, že spadá do třídy A podle EN 55022, spadá automaticky do třídy B podle EN 55022. Pro zařízení zarazená do třídy A (ochranné pásmo 30m) podle EN 55022 platí následující. Dojde – li k rušení telekomunikačních nebo jiných zařízení, je uživatel povinen provést taková opatření, aby rušení odstranil.**

## Europe – CE Declaration of Conformity

EN 301 489-1 (December 2001), EN 301 489-17 (December 2001), EN 300 328-1 (August 2002), EN 300 328-2 (August 2002), EN 60950 (January 2000)



English	Hereby, Dell Inc. declares that this XTBT01 is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
French	<p>Par la présente Dell Inc. Déclare que l'appareil XTBT01 est conforme aux exigences essentielles et aux autres dispositions pertinentes de la directive 1999/5/CE.</p> <p>Par la présente, Dell Inc. Déclare que ce XTBT01 est conforme aux exigences essentielles et aux autres dispositions de la directive 1999/5/CE qui lui sont applicables.</p>
German	<p>Hiermit erklärt Dell Inc., dass sich dieser/diese/dieses XTBT01 in Übereinstimmung mit den grundlegenden Anforderungen und den anderen relevanten Vorschriften der Richtlinie 1999/5/EG befindet. (BMW i)</p> <p>Hiermit erklärt Dell Inc. die Übereinstimmung des Gerätes tastatur mit den grundlegenden Anforderungen und den anderen relevanten Festlegungen der Richtlinie 1999/5/EG. (Wien)</p>
Italian	Con la presente Dell Inc. Dichiaro che questo XTBT01 è conforme ai requisiti essenziali ed alle altre disposizioni pertinenti stabilite dalla direttiva 1999/5/CE.
Spanish	Por medio de la presente Dell Inc. Declara que el XTBT01 cumple con los requisitos esenciales y cualesquiera otras disposiciones aplicables o exigibles de la Directiva 1999/5/CE.

Portuguese	Dell Inc. Declara que este XTBT01 está conforme com os requisitos essenciais e outra disposições da Directiva 1999/5/EC.
Finnish	Dell Inc. Vakuuttaa täten että XTBT01 tyyppinen laite on direktiivin 1999/5/EY oleellisten vaatimusten ja sitä koskevien direktiiven muiden ehtojen mukainen.
Dutch	Hierbij verklaart Dell Inc. Dat het toestel XTBT01 in overeenstemming is met de essentiële eisen en de andere relevante bepalingen van richtlijn 1999/5/EG.
Swedish	Härmed intygar Dell Inc. Att denna XTBT01 står i överensstämmelse med de väsentliga egenskapskrav och övriga relevanta bestämmelser som framgår av direktiv 1999/5/EG.
Danish	Undertegnede Dell Inc. Erklærer herved, at følgende udstyr XTBT01 overholder de væsentlige krav og øvrige relevante krav i direktiv 1999/5/EF.
Greek	ΜΕ ΤΗΝ ΠΑΡΟΥΣΑ Dell Inc. ΔΗΛΩΝΕΙ ΟΤΙ XTBT01 ΣΥΜΜΟΡΦΩΝΕΤΑΙ ΠΡΟΕ ΤΙΣ ΟΥΣΙΩΔΕΙΣ ΑΠΑΙΤΗΣΕΙΣ ΚΑΙ ΤΙΣ ΛΟΙΠΕΣ ΣΧΕΤΙΚΕΣ ΔΙΑΤΑΞΕΙΣ ΤΗΣ ΟΔΗΓΙΑΣ 1999/5/E

## France

Some areas of France have a restricted frequency band. The worst case maximum authorized power indoors is:

10 mW for the entire 2.4 GHz band (2400 MHz–2483.5 MHz).

100 mW for frequencies between 2446.5 MHz and 2483.5 MHz (NOTE—Channels 10 through 13 inclusive operate in the band 2446.6 MHz to 2483.5 MHz).

There are few possibilities for outdoor use: On private property or on the private property of public persons, use is subject to a preliminary authorization procedure by the Ministry of Defence, with maximum authorized power of 100 mW in the 2446.5–2483.5 MHz band. Use outdoors on public property is not permitted.

In the departments listed below, for the entire 2.4 GHz band:

Maximum authorized power indoors is 100 mW.

Maximum authorized power outdoors is 10 mW.

## 機能および技術仕様の概要

- 小型の折りたたみ式设计なのでポケットやブリーフケースに簡単に収容可能
- Bluetooth 経由で Pocket PC デバイスと簡単に接続可能
- 快適な入力を約束するフルサイズの QWERTY 配列キーボード。ISO/IEC フルサイズ キーボード仕様 9995 に適合しています。
- アプリケーションに高速にアクセスできるユーザープログラマブルなショートカット キー
- キーボードを使用して画面上のメニューおよびツールバーにアクセス可能
- Pocket PC デバイスからの電源供給は不要
- ゴム製のグリップ パッドが入力時のすべりを防止
- 着脱可能な装置スタンド

### 寸法(展開時) :

スタンドを除く	幅 261mm×高さ 15mm×奥行き 98mm(10.28×0.59×3.86 インチ)
スタンドを含む	幅 261mm×高さ 52mm×奥行き 177mm(10.28×2.05×6.97 インチ)

寸法(折りたたみ時) : 幅 139mm×高さ 20mm×奥行き 98mm(5.47×0.79×3.86 インチ)

重量(電池を含む) : 182 g (6.42 オンス)

動作温度範囲 : 0 ~ 49°C (32 ~ 120°F)

通常の電池寿命 :	連続使用時 :	最大 120 時間
	標準使用時 :	最大 3 か月
	待機時 :	最大 10000 時間

## RF 技術仕様

RF 出力電力 : クラス 2。最大出力電力は 2.5mW (4 dBm) です。

プロトコル : Bluetooth 仕様 v. 1.1 準拠。Bluetooth HID プロファイル v. 1.0 準拠。

周波数範囲 : 2.4 ~ 2.4835GHz

変調タイプ : GFSK (ガウス周波数偏移変調)

信号タイプ : FHSS (周波数ホッピング方式)